

「なんにも見えない同級生・日常の放課後

……う、う……。

ご、ごめんなさつ……わ、わた、私……何か……。

しちゃった……の、かな……？

こ、こん、な……こんな、放課後に呼び出しされるって、それって、私……ぼ、ぼこにされ……て……、……。

ごめんなさいごめんなさいっ。気に障る事したなら、謝るから……。  
い、痛いのは……！……ふえ……？

あ、え、え？ はえ？ 何を……？

す？ き？ ……？ え？ えっえっ？ それ、どういう……。

え？ なに、それ？ どういう事？ ……ど、いう、意味……？

……え、えええ？ ちよつ、え、え？ えっ！？

冗談……だよ？ そうだ、きつとそうに決まってる。

誰かが君に……そうしろって言ったんでしょ……？

あは、は。私、そういうの慣れてるから……いいよ。

だから、うん……。……え？ ま、待って。ほんとに……？

う、嘘だ。だって君、私と話した事、ないよね。……でしょ？

ほら、ありえない。こんな、地味で魅力の欠片もない私が誰かに——きヤッ！

ひ、……あ……？ ご、ごめなさッごめんなさい！

なに、怒って……？ ……え、ほんと？ ……怒ってない……？

うあ。うああ。……あ、は。分かった、分かったから、もう、いいから。

うん……。えと、あは。あはは。

あの、ね。私の事……たぶん、知ってると思うんだけど。

ごみ……って呼ばれてるの。名前が……籠目、みる、だから……。

あはは、略されちゃった。面白いよね、あはは……。

ごみと一緒にいると、臭くなるから……。

君も皆から、汚いもの扱いされちゃうよ。汚物だよ、汚物。

それにほら、私、ずっと……君の目、正面から見れてないでしょ。

苦手なんだ……。視線とか、距離とか。

ね？ こんな私なんか……一緒にいない方がいいよ。……ね……？

……う、うあ。そ、そんな。籠目さん、だなんて。

ちゃんと呼んでくれるひと、……すごく久しぶり……だなあ。

……でも。ううう。でも、……さようなら。

え……？ だって、君は優しい……とてもとても優しいから、さ。

今、言ったでしょ。私なんかと一緒にしちゃダメだよ……。

まだ部活で残ってるひといるよ。こんなところ、誰かに見られたら。

君は、君だけは……私と関わらないでほしいんだ……。お願い……。

……返事……？ なんの……？

え、え。あ……うあ、うう。さっきの……？

……好き、とか。嫌い、とか。よく、分からないよ……。

返事、って言われても、……ごめん。

——あつ……。う。そんな、そんなそんな……分からないだけで、

嫌いじゃ……。ない。と思うよ……。たぶん。

優しいひと、私はきつと……嫌いじゃないから。

嘘とか本当とか、そういうの理解するのは苦手だけど、

でも、君が優しいっていうのは、何となく分かる……。

……怖い。……何が、って、その優しさに……もし、う、うッ……。

……うう、うううッ。ごめん。ごめん、なさい……。

君の気持ちは……きつと本当なんだ。それだけは私、分かった……から。

だから、ね。もう、放っておいてほしいんだ。

これ以上は、私……。ね？ お願い……。

……、あは。君、ほんとに……粘り強いんだね。

こんなに警告しても、なんだ釘を刺しても。それでも君は。

……偉そうな事、言って……ごめんね。

本当は……すごく、すごく嬉しいんだ。

こんなに真摯に話しかけてくれて、なのに私、私……、

正面に立たれると、全然喋れなくて……。うう……。

……えっ？ なに、これ……？

あ、ああ。あの、ええと、無料通話アプリ……だよ。

私、やってないんだけど……。

あ、あ、ありがとう。……で、でも。

うう、うん、確かに……面と向かうよりは……、少し、話しやすいかも。

……ん、でも、どうせ私、うう、んううッ……。

わかつ……た。始めてみる……。ええと、どうすればいいかな……？

あ、ち、ちよっと、待って。ええと、ええと。

うん、名前を調べて……だ、だうんろーど、して、いんすとりーる？

いんすとりーる？ すれば良いんだね……？

ぽち、ぽち……。ぽち、ぽち……。

……へ？ え、あ、あ、わたっ私、動作の音とか口に出しちゃうの癖でっ、

へ、変かな。……やめた方が、良い……？

ひっ——か、かわっかわッ……あ、あああああ……。

わあああ危なッ——す、スマホ落とすところだった……、ありがとう……。

え、と。ぽちぽち、……うん、いんすとりあ、んんっ？

いんすとりーる？ 終わったみたい、だよ。

うん、……うん、うん。こうして、ぽちっと、ぽちぽちして、……。

わっ。できた。君の名前、出てきた。……つながったんだ……。

あは。……あはは……♪ いひ……、……あつ、ちが、ちがうの。

何か、面白くて。変な意味じゃないの。不快にさせちゃったら……ごめん……。

あ、う。あり、がと。……ん♪ 分かった、使い方も勉強するね。

……あの。改めて、今日は、その、ありがとう。……ごさいました。

ほんの少しだけ、一歩だけ……前に進めた気がする。

いつもいつも、やらないし、できないし、

誰かに言われても、拒む事ばかりしてきた……から……。

こんな風にするの、あんまり経験なくて……、うん。

もう少し、頑張ってみようかなって、思えた。……うふ。

あ、あ、もし電話出られなかったら……ごめんね……？

♪向こう側の吐息・コール

も、もしもし。籠目です……。あ、はい、こん、ばんは。

……き、君……だよ？ そうだよ？……？

そうだよ。当たり前だよ。ごめんね……。

さっきはあ言ったけど……顔が見えないのも、不安だ……。

あの、今、その、すっごく胸が……ドキドキ……バクバク……だよ。

う、う、ごめん。落ち着く……。すう、はあ。すう、はあ。

……よし。これで大丈夫……。な、はず。です。はい。

でも、ええとその、何を話せば良いのかな。

え、あああ、趣味……趣味か……。

漫画とか、好き。あのね、あのね……ひとの本性とか、醜悪な部分とか、

そういうのが出てくるの、好き。ギャング漫画、みたいな……。

ある作家さんがね……言ってたの。

自由は、何でもできる事じゃなくて……自分に由る事だ、ってね。

そんな言葉に救われた事もあったよ。

例えば、籠の中に飼われても、自分に由(よ)って生きられたら自由なんだって。

私、自分に由って生きられないから……。

……うん、何かにすがらないと、ダメなひとなんだ。

だからその言葉には、すぐ感銘を受けたなあってね。

……変な話、しちゃったね。ごめんね。ごめん。……ん、ありがとう。

ね。今度は私が訊いて良い……？

君、私の……その、どこが、……いいなって……思ったの？

今日、帰ってからずっとそれを考えて。でも、やっぱり魅力的なところないよ。

ぜんぜん見つけられない。自分に興味がないのかな……？

思い返してみると、私、空っぽの人生だったもん。なんにもないの。

でも君が、優しい君が嘘なんかつくはずないって思ってた。

それで必死に考えて、考えて、考え尽くしたけど、分からなくなっちゃった。

……教えてくれたら、もやもやが晴れるかも……。

え、あ、う、うん。大丈夫。すぐく恥ずかしいけど、ちゃんと聴くから……、  
本当、ちゃんと聴くからね。だから、はい、どうぞ……。

……、うん……。ん……。う……。ん。

……ん、うん、……はあッ……はあッ……。い、いや、大丈夫、だよ。

そんな、私、魅力的かな……？ か、かわ、か、わ……。いい……。？ ふえ。

んう……。お、思った事もないよ……。ん……。そっかあ、そう、なんだ……。

ん、はあ、……。んふ。ううん……。？ どうもしてない、よ……。？ えへへ……。

んん……。そんなの、自分じゃ分からなかったなあ、あはは。

わっ。に、二回も言わなくていいよ。分かったからあ……。

……。私は……。君にとって、……。可愛い……。カワイイ……。……。

はあ……。はあ……。

あっ。あ、ああ、いや、その。

えへ、やめよ、この話。うん、ごめんね。自分から切り出しておいて、あは。

なんか、頭……。いや、言葉が出てこなくなっちゃうみたい。あはは。

あの、ええと、ああそうだ……。君さ……。、ふふっ。

私がおか、喋るとき、「うん」とか、「そうだね」って、言ってくれるよね。

君は私の話をちゃんと聞いてくれるし、君に肯定されると、すごく……。えへへ。

胸が、その、キュウって、なるんだ。

ぽかぽか体温が上がってくる感じ……。あたたかい気持ちになるんだよ……。♪

ん……。、ふふ♪ 君の優しさ、声で伝わってくる……。

ここにはいなくても、どこかに君がいて。私を……。見ててくれて……。、  
心配してくれて、うん、嬉しいよ。嬉しい。ありがとう。

……。その、今日はここまでにして、いいかな……。

なんか、もう、たまらなくて。幸福感とか、満足感とか、いろいろなものがね、  
身体中から溢れてきちゃいそう。

段々さ、目の前が真っ白になってくの。

君の声を聴いてると、なんにも見えなくなる……。って言うのかな……。？

あはは……。もし外で君とお話したら、私、信号が赤でも渡っちゃうかも。

あっ、き、君が悪いとかそんなんじゃない……。悪いのは私。私だけだから……。

と、とにかく、今日はもう切るよ。……。ん、本当にありがとうね……。

うん、……。うん、ごめんね……。？

すごく……。すっごく、楽しい。楽しかった。君と話すの、楽しい……。

あ……。ひとつだけ、約束して……。？

学校では、話しかけないでほしいんだ。

昼間に言っただけ、君まで、その、対象になったら……。いやだよ。

だから、お願い……。お願いします……。

……。うん。ごめんね、私ばかりわがまま言って……。もお、優しいなあ。

また明日……。電話していい……。？ ……。うん……。♪ する……。♪

絶対する……。しなきゃ、もう私、ダメかも……。♪

ダメになっちゃったかも……。えへ。えへへへ。

ん、……。おやすみなさい……。♪

∞初、情・コール∞

もしもし……。私です♪

あは。ずっと、ずうっと話したかったよ。この時間が待ち遠しくて。

朝も授業中も、放課後も……。君と会いたかった。お話ししたかった。

君と一緒にいても、君と会えない学校なんていらないね。なくなればいいのに。

ここと学校は、まるで天国と地獄みたい。あはは。

あ、地獄って言ったけど、今日ね、現代文の授業で……

ほら、海老名先生って知ってる？

……。そう！ あの怖い顔で厳しめの先生。……。あはは、怖いよねえ。

ええと……。私ね、君が、君が昨日たくさん励ましと応援をくれたから、

あのひとに指名されたとき、頑張って答えたんだよ。

そしたら「正解！」、だって♪ あは♪ ふだん私、もごもごしちゃってさ、

先生も皆、しらーとした顔で私を飛ばしちゃうんだけど……。

今日は君のおかげで……。、えへへへ。

んう……。♪ ふふ、ありがとお。褒めてくれるの、うれしい……。。

頭ん中、じゅあぁーって……変な感情が湧いてきちゃう……。

それが勇気になって、私の背中を押してくれるんだ。

君にもらったもの、何もかも無駄にしないからね。

全部が私の源で、全部が私の今日で、明日で、これから先もずっと……♪

……私、君から色々もらってばかりだね。少しでも何かお返ししたいなあ……。

ん。……どうしたの？ え、なに？ ……んー……？

あつ、え、う。……す、す……、……言ってほしい……の？

あうう。そっか、私、一度も言ってなかったね……。ん……分かった。

それなら、さ。ただ言うだけじゃなくて、その、私の今の気持ち……伝えるね。

……うん。ええと、つまり、……す、……す……。ッ……、だ、大好きっ！

好き好き好き好き好きッ！ 大好きですッ。君が好きですッ。好きッ！

……はあーッ、はああーッ……あ、ああ、言っちゃった……。

言っちゃったよお。……何だろ、なんか、なんか、熱い……。

君も？ 君も熱いの……？ あ、あはは、同じ……だね。汗、出てきた……。

でもすごい爽快感……吹っ切れたような、生まれ変わったような、ふふ……♪

……はあッ、んっ……、うん、好き……君以外いない……君だけでいい……、

はあッ……本気でそう思ってる、はあッ……好き。大好き。愛してるよ……。

えへ、えへ……何だろこの、人生最高の幸せって感じ……。

……？ うわっ。あ、ご、ごめん、ちよっと、うん。

ね、ねえ、これ、何……？ あ、あの、あの、汚い話……しちゃっていい？

ん、ありがと……。これ、さ、私の中の幸せ、染み出てきちゃったのかな……。

何か、パジャマの下がね、ぐっしり濡れちゃって……汗じゃないんだ。

お、おも……らし……？ でも、ないんだけど、……い、イスに、そう、

今イスに座ってお話してるんだけどね、びしょびしょになっちゃって……。

……え、あ、き、君……も……？ へ……？

たってる？ なにが……？ ……え……？ ……ッー！！……？

おっおちッ、お、お、おッ、……え、ええ、えええっ！？

あつ、ああ、ああ！ そ、そっかあ、そうなんだねっ。お、ちん、……ちん。

たって、濡れてるんだ……へ、へえ……！ そっかあ！

……、……、……えっち……。

えっ。うあ、ど、どどしたの？ 大丈夫……？

な、なんか君、ずっと落ち着いて……やさしくて、いや、今もそうだけどさ、

今はその、あの、ちよっとだけ、……こ……こわい、かも。

——あつ。あああつ！ ちっ違ッ、ああッ。

ご、ごめんなさい！ 生意気な事言っつ。ああ、どうしよう、どうしよう！

君に嫌われちゃったら私、……私もうっ……！

本当にごめんなさいっ。もう二度と齒向かうような発言しませんっ。

しませんから、許して！ 許してくださいっ。お願いっ、お願いしますっ……。

……あ、あ、ん、う、ううん。分かつ……た、冷静になるね……。

えっ……？ どうして君が謝るの。私が悪いんだよ。

なんか、妙な事を話しだしちゃったから……。

ね？ ね？ そんな声、出さないで……。君は何も悪くないよ。

……う、あり……がと。それ、その君のやさしさ……。

あんなひどい事言っても君は、君は私を許して、好きって言ってくれろ。

愛してくれて。こうして電話も切らずに、ずっとそばに……。

ううう。うううッ。これでも私、抑えてた方……なんだけど……。

い、いやッ。なんでもないよ！ うん、平気平気。本当に。

あは、あはは。ちよっと、うん、疲れちゃったから切る……ね。ごめんね。

ん……、……すき……、……だああい好——

#### ✧暴走の黄昏・非日常の放課後

あつ……。や、やつほー。

……今朝のメッセージ……返さなくてごめんね。

ん……。どうしようかって、今日一日ずっと、ずうっと迷ってたよ。

だって、学校で……会えるとは思ってなかったから。

私のワガママだけど、それは君の為でもあったし……。

でも何でだろう。昨日お話してる途中から、もう、猛烈に……、

君と会いたくて。会っちゃいけないのに、迷惑かけるのに、  
どんどんどんん気持ち、……いや、欲望……かな？

それが大きくなって、さ……。

私ね、今ね、すごく我慢してるんだよ。

……え、ええと、それは……、……うう。

うあ。こ、こんな時にっ、面と向かって……言わないで。

……私、も、好き……、……だけどさあ……。

ダメだよ。ダメ……、まずいよ、このままじゃ、冗談じゃなく。

まずいんだよ……、私、もう、そろそろさ……。

もう、見えない。私どこにいるんだろうって。

——ああ……。

私、君の目の前にいるね……。それだけが私の居場所……。

もう私……君しか見えないよ……。

君しか……。

だから、ね。……好きにして。

え……？　だから、さ。私の事……好きにして……。

私、君が自由にするとおろをずっと見てるから……。

……何でもいよ。私、何も知らなくて……、

こういう、好き……、な、ひとに、したりしなかったり、みたいな事。

昨日みたいな事になるの、嫌だから……、教えてくれると嬉しいな。

へ？　……教室だから……？　どうしたの？　何か問題あるかな？

ん……でも私、何か気にしてたような……ううん、覚えてないや。

あ、でもね、でもね……君の仕草だけは、ずっとずっと覚えてるんだあ……。

今日は、みるちゃんって、四回呼んでくれた……。

好き、って……三回言ってくれた。……ああ……♪

あは……あははは……。好き。好き好きスキスキい……。

あれ？　私、君の好きを上回っちゃったかな。あははは……♪

うふ。……もうダメ……。

君に、何もかもおかしくされたくて、私——

(抱き寄せハグ)

——ひあ。うあ……ら、乱暴だなあ……♪　……ううん、平気だよ……？

ああ……私いま、君に抱きしめられてる……あああ♪

死ぬッ死んじやう♪　幸せ幸せ幸せ……。

うふっ。君の身体……大きいね。……はああ♪　そっかあ、そうなんだ。

君って、こんなに温かくて……気持ち良いんだ。知らなかった……。

これ、君の匂いだね……。君の……。もう忘れない……絶対忘れないよ。

鼻の奥の奥に、脳ミソの隅から隅までに行き渡らせて、刻み付けるから。

今、君の……全身巡ってる、何周もしてるよ。

私の身体、君の匂いが一生とれなくなるくらいに……なりたいなあ。

——ううあ！　そんな、強くぎゅってされたら、私……！

くひッ——うふっ……わらけてきちゃう……、……え？　そりゃあ……、

幸せすぎて……、君だもん。君だから、君にだけ……。

ああ……この、このまま、

君に抱きしめられて、身体を折られて死ねたら……世界の誰より幸福だ。

すーッ……はーッ……あああ、これ、頭くらくらする……。

こんな匂いが存在したんだね……どうしてこんな、こんな、

初めて嗅ぐのに懐かしい、心底ほっとするような、……あははは♪

……あ……、は、離れちゃうの……？

ううん、ごめんね。ほら、君のしたい事、して。

へ……？　なに、どうしたの……？　……、……胸？　触りたいの……？

……すけべ……♪

うふ。私の胸なんて、こんな……何も良いところないけど。

君が望むなら……、ん。……どうぞ。好きなら……好きにして……。

ひあ。あ、あ、な、んか……、声……出ちゃうなあ。何でだろう。

あっ……ん、う、あ……。胸、こんな、びりびりって……電気走るみたい。

へ……おっぱい？　おっぱいって言ってほしいの……？

あは……おっぱいたくさん触って、赤ちゃんみたいだね、君。可愛い……。

うあッ……んう……、……気分は、ふわふわって感じ……だよ。

んあ。君に触れてもらえるのと、あうッ、しかも……は、恥ずかしいところ、おっぱい……されて、ひあ。……ふわふわしてる。何か、……気持ち良い。

——んううッ！……触り方、手つき、すっごくやさしい、君……。

赤ちゃんって言ったけど、ただのおっぱい大好きな変態さんだねえ……。

もしかして……赤ちゃんよりおっぱい欲しがりなのかなあ……？

うふッ。当たり……？ 可愛い♪ ……ん……？ うん、何でも言っ……？

君のしたい事、してほしい事、なんつでもする♪ どんな姿にもなるから。

遠慮しないで。私、それが嬉しいよ。君の思うがままにされたいよ……。

……ブラウス、ボタン外す……？ ……分かりました……♪

ん、しょ……。えへ♪ 下着を見られるのも、初めてだ……。

あ、ごめん、ごめんね。今日は黒だけど、君の好みかどうか……分からないや。

……ありがとお♪ ……好き……好き……！

次は……君が望むものを着るから。何でも着るから……今日はこれで許して？

……うう。そんな事言われると、なんか、むず痒い……。あはは。

あの、次はどうしたい……？

……クス♪ いいよ、顔うずめて……？ いつまでも、好きなだけ……。

んっ♪ んうう、こそばゆいよお。……どう、かな？

そこ、たくさん汗かくから……臭いでしょ？

ふえ。……そ、そっかあ。君はあ、ほんとうに……、

や、さ、しー……♪ やさしき溢れてこぼれそう……すすすすすすきい♪

……なあに？ ……ん。よしよし……なでなで。……ぎゅう、も？

ぎゅうッ♪ あは……嬉しそう。君がそんな顔してくれたら、私も嬉しいよ。

……ひゃ。あ、ち、乳首……見られちゃったあ……。

んあ♪ は、恥ずかしいよ……。た、たってる、とか、言われたら……私、

変態さんみたい……。……え？ わた、私、変態さん……なのかな……？

そうなのかな……？ うん、君がそう言うなら、そうなんだ……。

私、変態さんなんだ……。

君は、変態さん……好き？ ……そっか……♪

じゃあ、私もつとつと変態さんになるね。

君の願望も欲望も満たして、満たして満たして、それ以上をあげられるような、そんな存在になる。絶対……なるから。

……もつと、脱ぐ……？ ……は、はい。わかり……ました。

ん……。

あ、ああ、あ、う、あ、ああ……君に……見られ、てる。

全部、全部だ……私の全部、君に……！

ひッ。君、そんな、やさしい目で私をっ……見……ッ……うう！？

ッ——！ う！？ あッ……ああッ！ ひいああッ……！（絶頂）

あッ——あ、ああ……あ……？ うあッ。

……はあ、ッう、はあ……ご、ごめん……肩、貸して……ください。

はあ……はあ……なに、今の……なに……？

頭、君でいっぱいになって、真っ白、でも、君だけはずっと目の前に。

う……？ ……、そう、なの……？ これ、が、……初めて……だ。

ん、ごめ、立って、らん……ない。ごめん……ごめんなさい……。

私、ダメだあ……。やっぱり迷惑……かけちゃった……。

さっき、あんな、大層な口きいたのに、私は……。

あああ……ごめんなさい……ごめんなさい……私、やっぱりゴミなんだ……。

君の足引ッ張って、君の手を煩わせて、君を……。

ぐすッ……ひう……せっかく、せっかくこうして会えたのに……。

なんで、なんでなんで私……こんなダメなんだ……あああ……。

……あ……、……り、がとう。君、君……。

この、温もり。匂い。声。やさしくて、慰めてくれて、私を……。

もう、これ以上好きに……なれないくらい、好きなのに……、ああ……。

……ぐすッ……、はいい……。わた、わた、し、君の事、もつと、

私のように、気持ち良く……できるように、頑張るから。頑張るから……！

心、から……言わせて。ありがとう……大好きっ……。

……もしもし。

私、わたし私……君に、何にもしてあげられてない。

聞いて。

だから、ね、あのね、調べました。たくさんたくさん調べました。

君に気持ち良くなってもらう方法。

君がたくさん幸せになれる方法。

君とずっと一緒にいられる方法。

独学だから、その、間違ってるかもしれないけど……。

でも少しでも、君の為にになりたいから。

大好きな君に、もう、嫌な思いはしてほしくないから。

……ほら、そういうところ。「嫌な思いなんてしてない」、なんてき、

君がそういうやさしさをさせるたび、私は辛くなっちゃうんだよ。

好きで好きで、好きが加速して、辛くなっちゃうの。

君のやさしさには、私の想いを……返します。

君、今、ひとり……？ 周りにひとが来る事はない……？

うん。私もだよ。同じだね……えへへ♪

……おちんちん、出して♪

……あは。びっくり……した？

昨日、変態さんになるって宣言したもん。約束は絶対守るから……。

これでも何万回も練習——いや、何でもありません。独り言です。

……ね、ほら、おちんちん、出して♪

ん、えらいえらい……♪

あのね。……私今、裸なの……♪

ん……。お洋服も、ブラジャーもパンツも、何も着てないよ……。

えへへ……興奮してくれる……？ ……やったあ♪

あのね、あのね……私も興奮しちゃってさ、……お、ま、ん、こ、

から……えっちな、あまあい蜜がたくさん溢れちゃってるの……。

君のおちんちん受け入れたくて、うずうずひくひくしてるんだ……。  
くすっ……君、息、荒いよ……？ 大丈夫かなあ……？

もうおちんちん……ガチガチになっちゃった……？ 教えて……♪

わあ……嬉しい。嬉しすぎるよ……私なんかで、君……、

だってそれ、私に……私と、繋がりたいくて、ひとつになりたくて、

勃起♪ しちゃったって事だね……？ そうだよな？ ね？

私も君とひとつになりたい。えっち、したい。セックスしたい。

ずっと君と繋がっていたい……。

……うふ。君と私は、この通話から深まった仲だから……。

こういう事も、通話から始められたら素敵だなんて……思っちゃったり。

ん。……ありがと♪

そう言ってもらえると……頑張って勉強した甲斐があるよ……♪

さあて、と。じゃあ、その……硬くなっちゃったおちんちん、

シコシコ、しょ……？

私もね、オナニー、する……から。だから、一緒に……しょ。

い、いい……？ いくよ……？

シコ、シコ。んっ……あ、……シコ、シコ。ひうッ。

……どう、かな。気持ち良い？ ……よか、った。んッ！

えへ……私は……ああん……この声、聞けば……分かる、でしょ……？

……とおっても……きもちい……♪ おまんこ、きもちいよお……♪

あはあ♪ 君さ、あれ、出てる……？ ほら、ぬるぬるの、

我慢汁……♪ ちゃんと出てる……？ ……そっかあ……♪ えへへえ♪

——このスケベちゃんぽ♪

……ふあああ♪ すつつつごい声が出たねえ……♪

かあわあいい……♪ キュンキュンしちゃうよお。

あのね、さっきから私、何回も何回も軽くイっちゃってるんだ……。

君がイクって感覚、教えてくれて……

君を想って、君でイっちゃうの、やみつきになっちゃった……。

今度、君を見たら……それだけでイっちゃいそう……。

でも、それが君の望んだ事……私が望んだ事……幸せだよ……。  
私、君しか見えないから……それがとおっても幸せなんだ……。

……シコって。さっきより強く、シコって……。

ん、そう……♪ そうだよ……♪

んぐッ……わた、私もッ……今はね、乳首、いじってますう……。

きもちいいッ。きもちいいッ。

私、のっ、あ、げ、下品……な、ひう、でかいだけが取り柄の、おっぱい、揺らしながら……ンッ、先端の、やらしい乳首、つまんで、つねって、気持ち良くなってるのッ……！

えっ……は、挟んで、ほしい……の……？ お、おちんちん、を……？

……すっごい、うあ、やらしい……！ 挟みたいッ……包んであげたいッ。

包んで、ぎゅってして、ぐちゅぐちゅしてっ、君の中のせーえき、

一滴残らず絞り出してあげたいっ……♪

こんな私の……あ、おっぱいで、よかったらッ……あアッ……！

ん、使って……！ 私を道具みたいにッ、それでも私、嬉しい……！

君の為に、君が気持ち良くなれるなら、いくらでも私をッ……。

えっ……う、あ、んッ……！ ひアアッああアッ……！ (絶頂)

はあ……はあ……もおお……そんな、かつこすぎ、る……よお……。

また、イっちゃったあ……♪ もう何回トんじやったか分からないよお。

……でも、君は……まだだよね……♪

おちんちん、おちんちんおちんちん♪ 気持ち良くなって……♪

私、見るからっ。君だけ見てるから……君がイクところ見てるからっ……。

好きッ。好き好き好き好きッ。大好きッ。大好きッ。好きい！

私を、愚図で、何もできなくて、友達もない、こんな私を、

ずっと見てくれて、好きでいてくれて、見捨てないでくれて、ありがとうっ。

大好きだよっ。好きッ。好きッ。好きッ！ 愛してますっ。

一生そばにいますっ。一生君だけ見ていますっ。もう君しか見ません。

見えますんっ。だから、お願い、私で、私で射精して！

私の声で、私の気持ちで、私の想いだけで、イって……射精して！

射精、射精、射精……、君の愛、思いつきり吐き出してほしい……！  
イキそう？ イキそうなのかなっ？

うん、うん……！ イって……イってほしいっ。嬉しいよっ。

なん、なんか、なんか言った方がいいかなっ？ え、あ、あ、うんっ。

いい？ いくよ？

好きッ。あッ♪ 好きッ好き好きッ。いあッ♪ 好き好き好き大好きイっ！

イって！ あうッ♪ 好きいいッ！ イグッ♪ 大好きいいッ！

イって！ 射精して！

イあッ……大……好きッ……！

………。

………。

……あ、は……♪ ……イっ……た……？ せーし、たくさん、出た……？

……ん……♪ 私……も……。潮、吹いちゃった……。

今まで、で……一番、凄かったや……。あは……。

予想、してたより……ずっとずっと、興奮して、えっちな気持ち……なっ。

もし、もし君と……昨日の続き、してたら……って、思うと……。

私、もう、ただの獣になっちゃったかも……ね……。

……したい。

君と、セックス……したい。永遠に……していたい。

そして君の、籠の中で……飼われたいなあ……あは。あははは……。

私、そこで……ずうっと君を見てるから……♪ ずうっと、ね……。

(終)